2026年度 第２四半期 決算説明資料



2026年11月10日

株式会社三井E&S

MITSUI E&S

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

目次

■ 2026年度 第２四半期 決算説明

	頁
➢ 概要	3
➢ 2026年度 第２四半期 決算概要	4
➢ 2026年度 第２四半期 連結貸借対照表の概要	5
➢ 2026年度 第２四半期 連結キャッシュ・フローの概要	6
➢ 2026年度 第２四半期 セグメント別決算概要	7-10

■ 2026年度 見通し

➢ 2026年度 連結業績通期見通し	11
➢ 2026年度 セグメント別業績通期見通し	12
➢ 2026年度 第２四半期 進捗状況	13

■ トピックス

➢ インド造船所向け初受注－LNG二元燃料エンジン6基を獲得－	14
➢ 推力計測システムによる新事業の創出	15
➢ 子会社株式（株式会社加地テック）の譲渡による親子上場解消について	16

■ 参考資料

	頁
➢ 設備投資・研究開発費・従業員数	17
➢ 舶用エンジンの状況	18

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

概要

※ ・受注高・売上高・営業利益が全て前年同期比で増加し、業績は堅調に推移
・好調な第2四半期実績を踏まえ、2026年度の営業利益見通しを大幅に上方修正

2026年度 第2四半期 決算概要	◆ 受注高　1,460 → 1,580 億円　（前年同期比 ↗ ） ◆ 売上高　1,655 → 1,750 億円　（前年同期比 ↗ ） ◆ 営業利益　198 → 207 億円　（前年同期比 ↗ ）
2026年度 見通し	◆ 受注高　3,700 億円　（前回発表見通し比 → ） ◆ 売上高　3,700 億円　（前回発表見通し比 → ） ◆ 営業利益　340 → 400 億円　（前回発表見通し比 ↗ ）
トピックス	◆ インド造船所向け初受注－LNG二元燃料エンジン6基を獲得－ ◆ 推力計測システムによる新事業の創出 ◆ 子会社株式（株式会社加地テック）の譲渡による親子上場解消について

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度 第２四半期 決算概要

（単位：億円）

	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**	増減
受注高	1,460	**1,580**	+120
売上高	1,655	**1,750**	+94
営業利益	198	**207**	+9
営業利益率	12.0%	**11.9%**	-
経常利益	227	**240**	+13
経常利益率	13.7%	**13.7%**	-
親会社株主に帰属する中間純利益	175	**174**	△1

＜売上平均レート＞

	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**
USドル	145.14円	**156.75円**

■ 受注高

中核事業の受注環境が良好であるなか、舶用推進システム部門において、受注台数が増加したことなどにより、前年同期に比べて増加した。

■ 売上高

豊富な手持ち工事量を抱えており、それらを着実に進捗させたことによって、前年同期に比べて増収となった。

■ 営業利益

売上高が増加したことや工事採算改善を実施したことなどにより、前年同期に比べて増益となった。

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度 第２四半期 連結貸借対照表の概要

※ 利益の積み上げにより、株主資本が増加

（単位：億円）

	25年度	26年度2Q	増減	
資産合計	**4,946**	**4,842**	**△104**	
（現金及び預金）	571	559	△11	
（受取手形、売掛金及び契約資産等）	953	912	△41	
（棚卸資産）	779	843	+65	主に舶用エンジンの仕掛品増加
（有形・無形固定資産）	1,220	1,213	△8	
（投資有価証券）	550	409	△141	主に株価下落に伴う減少
負債合計	**2,607**	**2,468**	**△140**	
（支払手形及び買掛金等）	515	459	△56	
（契約負債）	429	482	+52	
（有利子負債）	927	884	△43	借入金の返済による減少
純資産合計	**2,338**	**2,374**	**+36**	
（株主資本）	1,501	1,637	+136	利益剰余金の積み上げによる増加
（自己資本）	2,291	2,326	+35	主に株価下落に伴う評価差額金の減少と利益剰余金の増加
（自己資本比率）	46.3%	48.0%	-	

運転資本 (*)	712	791	+79	
D/Eレシオ	0.4倍	0.4倍	-	

(*) 運転資本 = 売上債権（除く前受金）+ 棚卸資産 − 仕入債務

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度 第２四半期 連結キャッシュ・フローの概要

MITSUI E&S

※ 営業キャッシュ・フローは、運転資本の増加によって、前年同期と比べて減少となったが、利益の積み上げにより黒字を確保

（単位：億円）

	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**	増減	
営業CF	252	**107**	△145	26年度2Qは、前年の売掛金回収や前受金増加の反動などに伴う運転資本の増加によって、前年同期に比べて減少となったが、利益の積み上げにより黒字を確保
投資CF	23	**△39**	△62	26年度2Qは、主にアンモニア供給設備増強等の設備投資
フリーCF	275	**68**	△207	
財務CF	△177	**△93**	+83	26年度2Qは、主に借入金の返済および配当金の支払いによる支出

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度 第２四半期 セグメント別決算概要

※ ・成長事業推進部門、物流システム部門、周辺サービス部門において増収増益
・舶用推進システム部門は、新機種製品の開発投入に要したコストが想定以上に増加したことなどにより減収減益

（単位：億円）

	受注高			売上高			営業利益		
	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**	増減	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**	増減	25年度 2Q累計	**26年度 2Q累計**	増減
成長事業推進	200	**218**	+18	179	**229**	+50	29	**52**	+23
舶用推進システム	628	**812**	+184	751	**727**	△24	90	**56**	△34
物流システム	328	**197**	△131	311	**333**	+22	67	**78**	+11
周辺サービス	303	**352**	+49	413	**460**	+47	17	**27**	+10
その他	1	**1**	△0	1	**1**	△0	△4	**△5**	△0
合計	1,460	**1,580**	+120	1,655	**1,750**	+94	198	**207**	+9

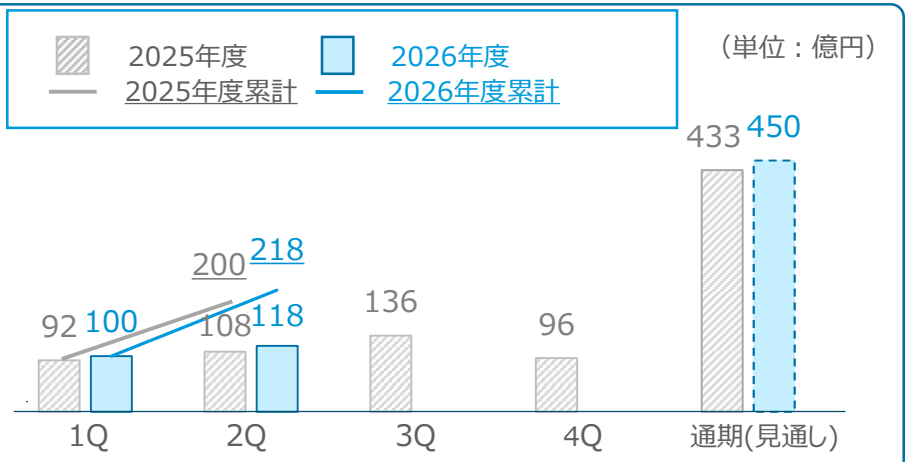
Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

成長事業推進

主要事業：産業機械（圧縮機,回転機等）、アフターサービス事業

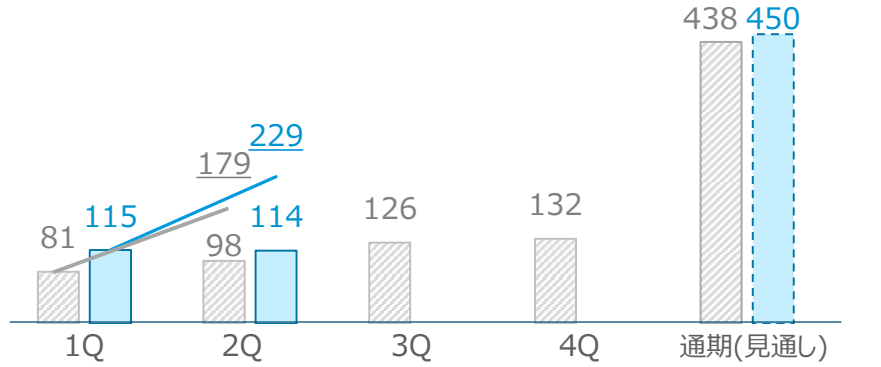
■ **受注高**：前年同期比　＋18億円

海外向け高炉用炉頂圧回収タービンを受注したことや、子会社において建設機械用エンジンが順調に推移したことなどにより、前年同期に比べて増加した。



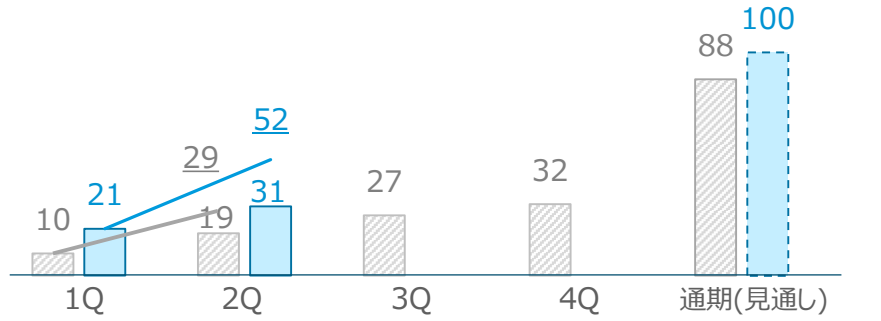
■ **売上高**：前年同期比　＋50億円

建設機械用エンジンや回転機事業が順調に推移するとともに、アフターサービスが着実に進捗したことなどにより、大幅な増収となった。



■ **営業利益**：前年同期比　＋23億円

売上高の増加に加え、アフターサービスや工事の採算改善などにより、大幅な増益となった。



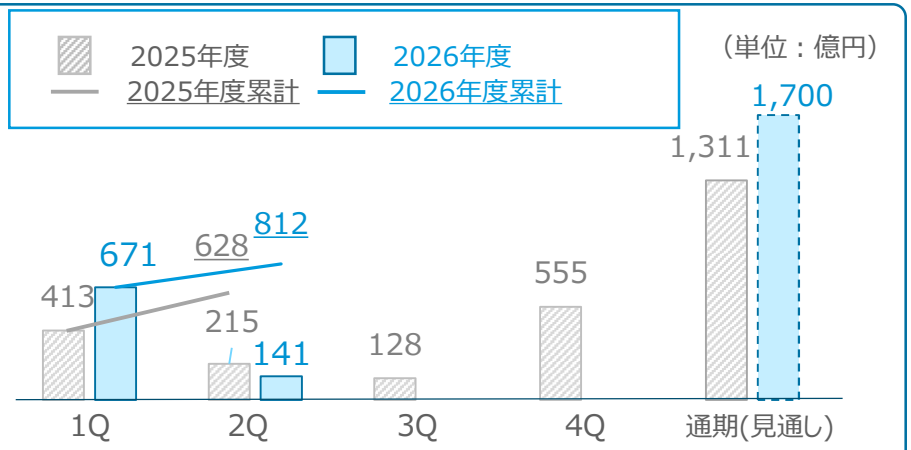
Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

舶用推進システム

主要事業：舶用エンジン、アフターサービス事業

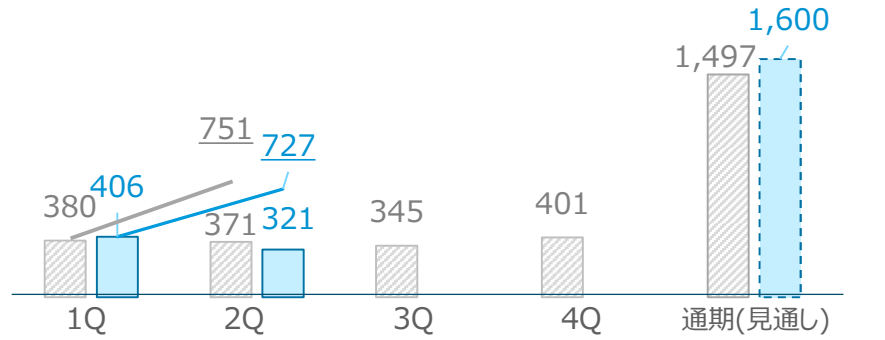
■ **受注高**：前年同期比　+184億円

舶用エンジンの需要が引き続き旺盛な中、25年度からの期ズレ案件を予定通り受注することで、二元燃料エンジンを含むエンジン案件の受注台数が増加したことから、前年同期に比べて増加した。



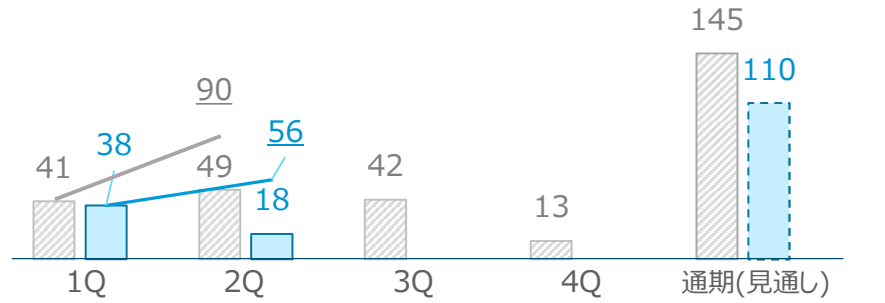
■ **売上高**：前年同期比　△24億円

客先への引き渡しタイミングの関係などから、前年同期に比べて売上台数が減少となったが、豊富な受注残高を抱えており、通期見通しに変更はない。



■ **営業利益**：前年同期比　△34億円

客先への引き渡しタイミングによる売上高の減少に加え、新機種製品の開発投入に要したコストが想定以上に増加したことなどの影響を受けて、前年同期に比べて減益となった。



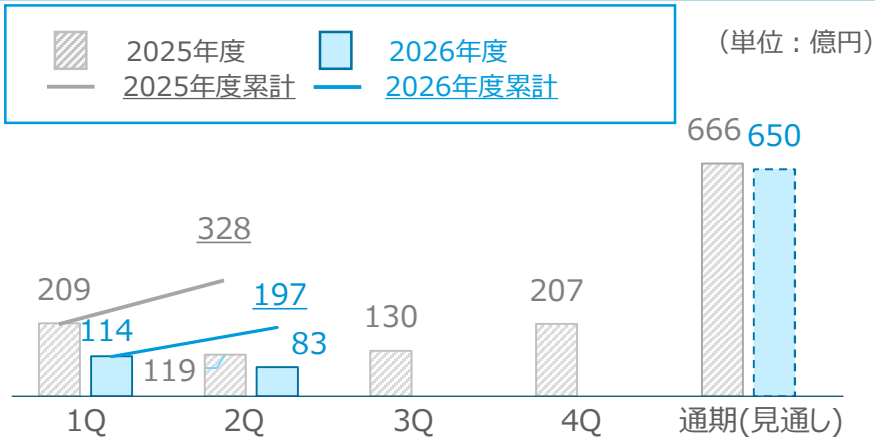
Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

物流システム

主要事業：コンテナクレーン、アフターサービス事業

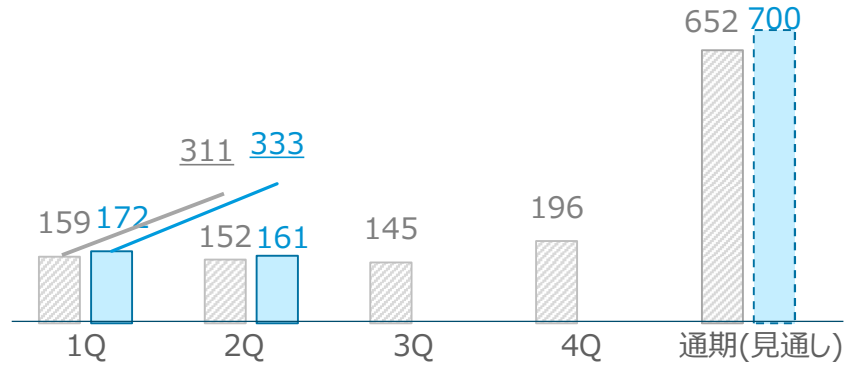
■ **受注高**：前年同期比　△131億円

前年同期に東南アジア向け大型案件や米国向け案件の受注があったことなどから、前年同期に比べて減少したが、多数の商談案件を抱えており、需要は引き続き堅調



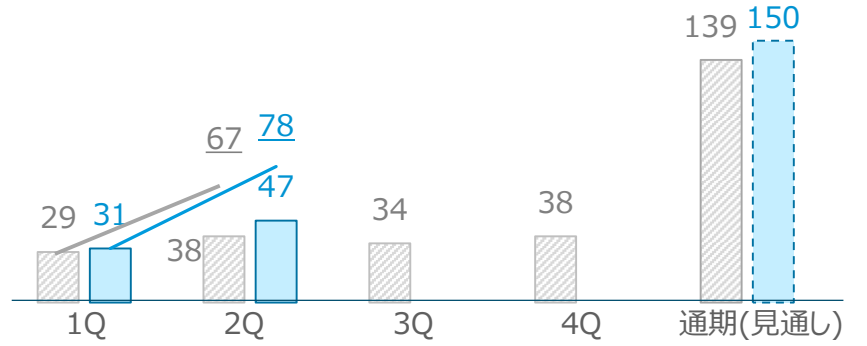
■ **売上高**：前年同期比　+22億円

豊富な手持ち工事を抱える中、国内向けおよび海外向け大型案件が順調に進捗したことなどから、前年同期と比べて増収となった。



■ **営業利益**：前年同期比　+11億円

高操業を背景とした売上高の増増加や、工事の採算改善などにより、前年同期と比べて増益となった。



Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度　連結業績通期見通し

MITSUI E&S

※ 成長事業推進部門、物流システム部門が、好調に推移していることから、営業利益の上方修正を実施

（単位：億円）

	前回見通し 2026/8/3	今回見通し 2026/11/10	増減
受注高	3,700	**3,700**	0
売上高	3,700	**3,700**	0
営業利益	340	**400**	+60
経常利益	390	**460**	+70
親会社株主に帰属する当期純利益	310	**330**	+20
フリーCF	80	**140**	+60
有利子負債	950	**950**	0

※　前提為替レート　US＄＝152円

※　USドル1円の為替変動が営業利益に与える影響はほぼありません

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度　セグメント別業績通期見通し

※ 営業利益は、舶用推進システム部門が新機種製品の開発投入に要したコストが想定以上に増加したことなどにより下方修正となったが、好調な成長事業推進部門、物流システム部門が牽引することで、全社の通期見通しは上方修正

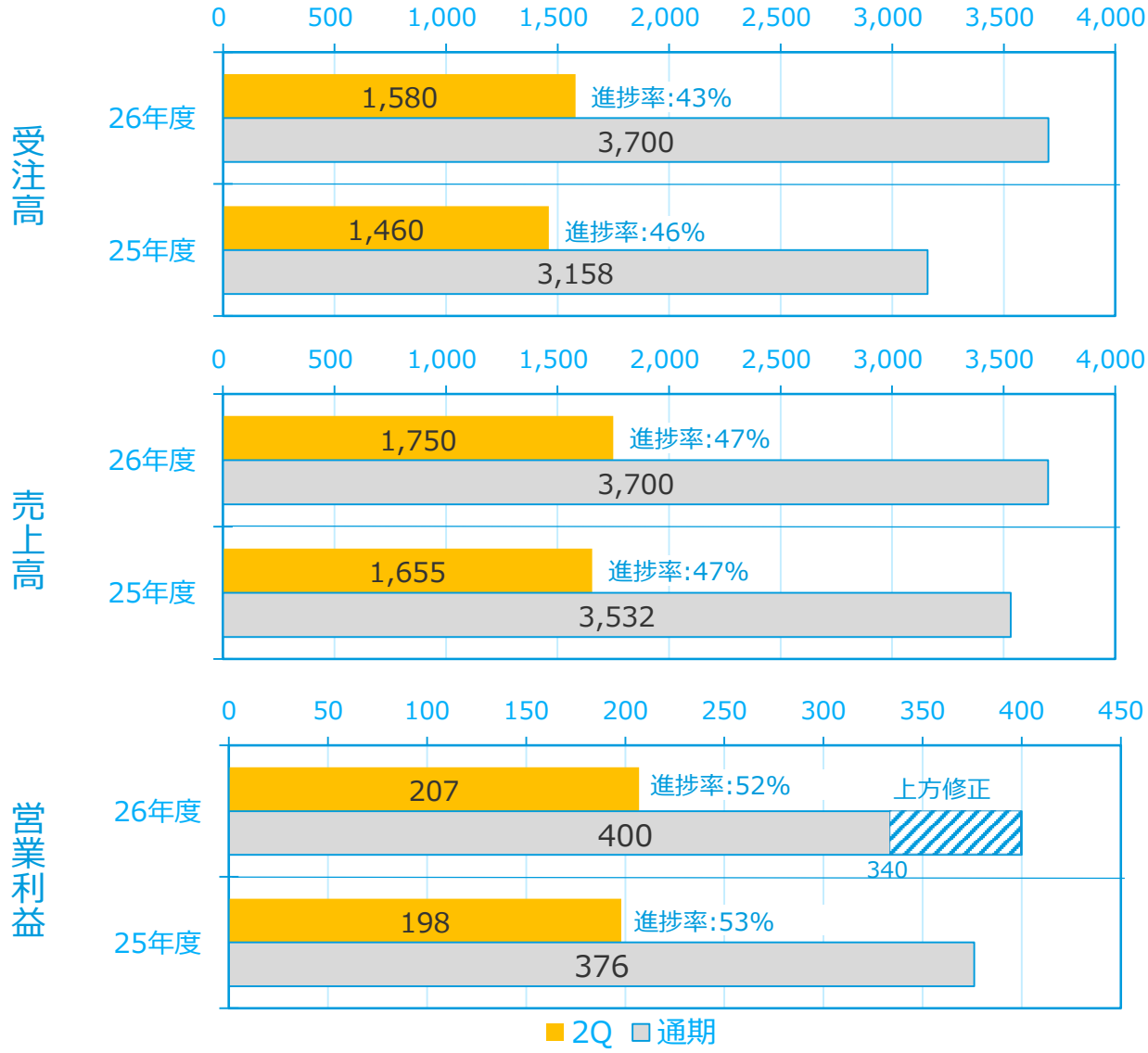
（単位：億円）

	受注高			売上高			営業利益		
	前回見通し 2026/8/3	今回見通し 2026/11/10	増減	前回見通し 2026/8/3	今回見通し 2026/11/10	増減	前回見通し 2026/8/3	今回見通し 2026/11/10	増減
成長事業推進	450	**450**	0	450	**450**	0	80	**100**	+20
舶用推進システム	1,700	**1,700**	0	1,600	**1,600**	0	120	**110**	△10
物流システム	650	**650**	0	700	**700**	0	100	**150**	+50
周辺サービス	900	**900**	0	950	**950**	0	40	**40**	0
その他	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0
合計	3,700	**3,700**	0	3,700	**3,700**	0	340	**400**	+60

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

2026年度 第2四半期　進捗状況

※ 受注高及び売上高は全社として概ね計画通り、営業利益は大幅に上方修正



26年度 2Q:
上期進捗率は43%だが、受注環境は引き続き良好であり、下期での着実な受注積み上げを見込む。舶用推進システム部門は、国内造船所で十分な手持ち工事量が確保されており、物流システム部門でも米国やアジアを中心に堅調な需要が継続している。

26年度 2Q:
上期進捗率は47%と、概ね順調に進捗している。進捗率の低い舶用推進システム部門においても、舶用エンジンの引き渡し予定に大きな変動はなく、全体として年度予想に変更はない。

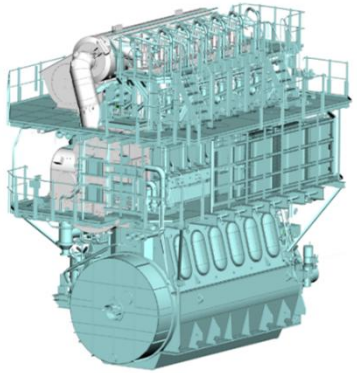
26年度 2Q:
成長事業推進部門で、ガスタービンのアフターサービス事業などが順調に推移していること、物流システム部門で、難易度の高い工事が順調に進捗するなど工事採算の改善が見込まれることなどから、通期見通しを上方修正した。

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

インド造船所向け初受注－LNG二元燃料エンジン6基を獲得－

MITSUI E&S

※ Swan Defence Heavy Industries Limited建造 18,000DWTケミカルタンカー向け LNG(メタン)焚き二元燃料エンジン6基を受注



「三井-Everllence B&W 6S50ME-C9.7-GI-EGRBP」x 6基
－従来の重油焚き運転とLNG(メタン)運転の切り替えが可能な二元燃料エンジン

＜背景＞
・インドでは政府主導で造船業を強化、商船建造能力の拡大が進行し、今後の造船市場の成長が期待されている

＜当社の強み＞
・国内最大の大型舶用エンジン生産能力
・多様な次世代燃料対応技術と生産設備
・ライセンサであるEverllence社との、100年にわたる技術提携をもとに構築した信頼関係



※Swan Defence and Heavy Industries Limited (SDHI)
インド・グジャラート州を拠点とする大手造船・重工業会社

三井E&Sグループの舶用エンジン事業におけるインド市場進出の第一歩

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

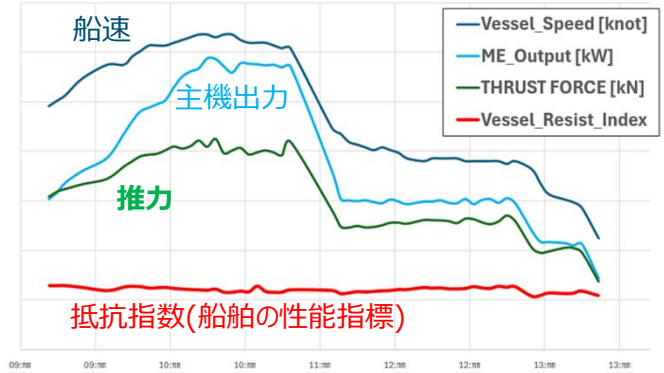
推力計測システムによる新事業の創出

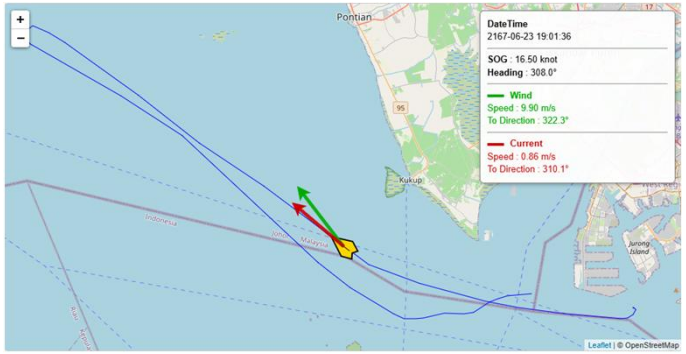
これまで計測困難であった船舶推進性能の評価指標である「推力※」を高精度に計測する独自技術を開発



実海域における実証試験に成功

ENEOS DREAM　: VLCC(Very Large Crude Oil Carrier)





推力計測＝リアルタイム・高精度な船舶性能の把握

THRUST
Vessel
Efficiency

- 最適運航支援
- 船型設計活用
- 契約性能検証
- 環境規制対応
- 船体汚損の評価
- 省エネ装置の評価

2026年11月販売開始　推力を新たな評価指標として燃費改善・運航最適化・脱炭素化に貢献

※　推力　＝　船を前へ押し進める力

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

子会社株式（株式会社加地テック）の譲渡による親子上場解消について

- 親子上場解消によるガバナンス強化および経営資源配分の最適化を目的として、
  - 株式会社企業支援総合研究所(ＣＳＲＩ)の運用ファンド傘下のＣＳＲＩ１７号株式会社による加地テック株式の公開買付け　※当社は不応募
  - 買付成立後に加地テックが実施する自己株式取得により、当社が保有する全株式（844,546株、株式所有割合51.06%（注1））を譲渡すること

  等に関する契約を締結
- 当社は中核事業の更なる成長と新規事業の拡大に向け経営資源の集中を進めるとともに、水素燃料電池を含む次世代エネルギーへの取り組みも引き続き推進
- 2027年3月期中の本取引完了をもって、加地テックは当社の連結子会社から外れる予定
- 本取引による当社の連結業績への影響は軽微

項目	主な取引条件
自己株式取得価格	5,988円／株（注2）
公開買付価格	7,957円／株
譲渡価格（予定）	5,057百万円（注3）

項目	日程
公開買付期間	2026年11月11日～12月23日
公開買付結果公表	2026年12月24日
自己株式取得	2027年3月頃（予定）

親子上場の解消と中核事業への経営資源の集中により、企業価値の向上を図る

（注1）所有割合は、加地テック決算短信記載の2026年9月30日現在の発行済株式総数（1,718,000株）から自己株式（63,851株）を控除した1,654,149株に対する割合。数値は暫定値
（注2）みなし配当の益金不算入を考慮し、公開買付価格で応募した場合の税引後手取り額と同等となるよう設定
（注3）１株あたり自己株式取得価格に当社売却予定株式数を乗じた参考値

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

参考）設備投資・研究開発費・従業員数

MITSUI E&S

※ 26年度下期以降に、成長投資に向けた設備投資などを加速

	25年度 2Q実績	25年度 実績	**26年度 2Q実績**	26年度 計画
設備投資額　（億円）	47	91	**35**	119
研究開発費　（億円）	7	17	**7**	18
連結従業員数　（人）	6,061	5,998	**6,081**	-

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

参考）舶用エンジンの状況

MITSUI E&S

※ 豊富な手持ち工事量を抱えており、生産実績も順調に進捗

	25年度 2Q累計		**26年度 2Q累計**		26年度 見通し	
	基数	馬力数（万馬力）	**基数**	**馬力数（万馬力）**	基数	馬力数（万馬力）
受注高	46	103	**71**	**136**	–	–
売上高	67	153	**64**	**130**	–	–
受注残高	133	368	**135**	**350**	–	–
生産実績	69	152	**66**	**142**	138	292

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.

MITSUI E&S

Engineering & Services for Evolution & Sustainability

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。

Copyright © MITSUI E&S Co., Ltd. All rights reserved.